

2020年8月23日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第20号(通算3197号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

神様が創られたすべての命を  
大切に<sup>たいせつ</sup>にする<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

## 聖霊降臨節 第13主日礼拝

《新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。感染防止に留意しながら  
ら礼拝を行います。インターネット中継をしておりますので、ご自宅  
でもホームページからご視聴頂き、共に礼拝をして頂くことができます》

前奏 黙祷

招きの詞 詩編 15編 1-3節

賛美歌 566番「むくいを望まで」(©著作権消滅)

聖書 コリントの信徒への手紙I 3章 1-9節

お祈り

賛美歌 386番「人は畑をよく耕し」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ「神様の働かれる畑」 牛田 匡 牧師

賛美歌 393番「こころを一つに」(©教団讚美歌改訂委員会)

主の祈り (2頁をご参照ください)

献げ物 (\*)

派遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになっ  
たままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 15編 1b-3節

- 1b 主よ、誰があなたの幕屋にとどまり  
聖なる山に宿ることができるのでしょうか。
- 2 それは、全き道を歩み、義を行い  
心の中で真実を語る者。
- 3 舌で人を傷つけず  
友に災いをもたらさず  
隣人をそしることもない。

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ 3章 1-9節

1 きょうだいたち、私はあなたがたには、霊の人に対するように語ることができず、肉の人、つまりキリストにある幼子に対するように語りました。2 私はあなたがたに乳を飲ませて、固い食物は与えませんでした。まだ固い物を口にすることができなかったからです。いや、今でもできません。3 相変わらず肉の人だからです。互いの間に妬みや争いがあるかぎり、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいる、ということになりはしませんか。4 ある人が「私はパウロに付く」と言い、他の人が「私はアポロに」と言っているようでは、あなたがたはただの人ではありませんか。5 アポロとは何者ですか。パウロとは何者ですか。二人は、あなたがたを信仰に導くために、それぞれ主がお与えになった分に応じて仕える者です。6 私が植え、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させてくださったのは神です。7 ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神なのです。8 植える者と水を注ぐ者は一つですが、それぞれが働きに応じて自分の報酬を受けます。9 私たちは神の協力者、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

主の祈り (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われる通り、地にも行われますように。

私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。

私たちの罪をおゆるしください。私たちも人をゆるします。

私たちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン。

## 《先週のメッセージより》8月16日 聖霊降臨節第12主日礼拝

メッセージ「野の花のように生きる」より

牛田 匡 牧師

聖書：ヨハネの手紙Ⅰ 5章1－5節

今回の聖書には「神の戒め（掟）」や「神を愛する（自分のように大切に）」、「世に勝つ」などのキーワードが登場しています。「戒め（掟）」と聞いて、すぐに連想されるのは、「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の戒めである」（ヨハネ15：12）でしょう。そして「ヨハネの手紙Ⅰ」5章の直前には「目の前にいる仲間を大切にしない人は、見たことのない神を大切にすることは出来ません。神を大切にすることは、自分の仲間をも大切にすることです」（4：20－21）ともあり、同じことが「『互いに大切にし合いなさい』という）戒めを守ること、これが神を大切にすることです」（5：3）と言い換えられています。更に「その戒めは難しいものではありません。（何故なら）神から生まれたものは皆、世に勝つからです。世に勝つ勝利（とは何か）、それは私たちの信仰です」（3－4）と続いています。しかし、ここで言われている「世に勝つ」とは一体何でしょうか。それは「特別な信仰によって世間に打ち勝つ」ことではなく、「神様に信頼して行動を起こした結果として、世間の価値観に流されたりしないことがある」ということではないかと思います。言い換えれば、どこに正解があるのか分からないような世の中にあっても、そんな世間の価値観の中で右往左往したり、諦めたりせず、まずは目の前にいる大切にすべき一人一人に、しっかりと向き合っていく。そこにしか、本当の活路はないということではないでしょうか。

例年であれば「お盆休み」と言われるこの時期も、今年は毎日コロナの新規感染者数が「増えた減った」の話でもちきりでした。旅行や帰省の是非を巡ってすら、何が正しいのかが分かりませんでした。政治が混迷し、皆が不安や恐怖に怯え出すと、ファシズムが抬頭します。一人一人の不安を覆い隠すために、分かりやすい共通の敵を作り出す…。ナチスによるユダヤ人の大量虐殺も、第二次世界大戦も、その論理で起こりました。そして今も世界各地で戦争が続けられ、多くの血が流されています。

現在、世界を席卷しているコロナ禍は、まだまだ収束しないでしょう。この混迷する世界の中で、どうやって生き残っていくか、どうやって命を使っていくかが私たちには問われています。そしてまた、このコロナ禍をどのようなものとして意味付けて行くかも、一人一人に委ねられています。世間の価値観に流されない秘訣は、身近な人を大切にすることの中にある……。道端に咲く野の花のように、踏み付けられても、ちぎられても、しぶとく根強く生き続け、太陽の方を向き続ける……。コロナ禍を生きる私たちの歩む道は、そこにあるのではないのでしょうか。多くの困難や不安もありますが、命を与えてくださっている神様に信頼して、野の花のように生きる、身近な人を大切にすること……。その歩みへと、今日もまた私たちは共にいて下さる神様に伴われて歩み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (8月16日)

礼拝出席 大人6名 献金 12,000円 感謝 聖書を読む会 出席5名

◎次週 2020年8月30日(日) 聖霊降臨節第14主日礼拝

招きの詞 出エジプト記 34章 5-7節

聖書 ヨハネによる福音書 8章 1-11節

メッセージ「あなたの『おうち』はどこですか」牛田匡牧師

賛美歌 433番(©P.D.) 481番(©教団改訂委) 512番(©教団改訂委)

礼拝の中で、8月生まれの方(と今年度7月までにお生まれの方)の誕生者祝福式を行います。なお礼拝をインターネットで中継配信いたします。

◎ お知らせ

- ・本日礼拝の後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。  
(新型コロナウイルス感染予防のために、これまでおにぎり作りを行っていた特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」では、外来者の立ち入りを制限しておりますので、先月に引き続き今月も久宝教会にて行います)
- ・全国で、新型コロナウイルス感染者数が増えて来ています。教会では引き続き、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、それらをご自宅までお届けすることもできます。また必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。
- ・福島第一原発からの「トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名」は8月末が〆切です。署名用紙は、教会のホームページからダウンロードできる他、右のQRコードか、URLよりオンライン署名も可能です。ご賛同いただける方はご署名ください。(http://fukushima-kenmin311.jp/)
- ・29日(土)14時~17時に「トータルペイン緩和研究会」がZOOMを利用したオンライン研修として開催されます。どなたでも無料で参加できます。URLをご参照ください。(https://med.juntendo.ac.jp/education/doctoral/seminar.html)
- ・30日(日)16時~21時に特別公開講座「宣教と当事者研究—“精神障がいと教会”の経験から」(講師：浦河べてるの家理事・向谷地生良さん)が関西セミナーハウスで開催され、ZOOMを利用したりリモート参加も可能です。申込は26日〆切です。(https://www.academy-kansai.org/index.php)



**特別公開講座** リモート参加可  
**宣教と当事者研究 “精神障がいと教会”の経験から**  
 講師：向谷地 生良 (北海道医療大学 教授、社会福祉法人 浦河べてるの家 理事)  
 日時：2020年8月30日(日) 16:00~21:00  
 参加費：無料  
 申込：2020年8月26日(木) 15:00迄  
 申込先：久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂) 電話：011-833-1111

**第7回トータルペイン緩和研究会**  
 Web版 お茶の水緩和ケアカンファレンス  
 日時：2020年8月29日(土) 14時~17時 (参加人数あり)  
 会場：Zoom Meeting (お好きな場所からご参加ください)  
 議題：① 最新の、驚いて得する緩和の話題  
 ② 新型コロナウイルス感染症、その時況で何が起ったか？  
 ③ ぼやち間まよー一級病院と聖隷介護事業所の話を聞くー上原 大学 大学院 井口 麻子 先生  
 ④ グリーンケア、ストレッチには注目があつたか？  
 一橋 倫、橋本 洋子、藤田 美月、丸山 一輝  
 聖光堂大学大学院 東方福祉学部 緩和医療学 山口 環 先生  
 参加費用：無料  
 参加資格：医療介護福祉従事者、教職員、学生、興味のある方ならどなたでも  
 参加申込：① 参加申込書(参加希望の分野)を提出してください  
 ② 登録用QRコードから、登録フォームにご記入ください  
 ③ kanve-care@juntendo.ac.jp に、下記項目を送信してください  
 ・氏名  
 ・所属  
 ・登録希望分野(複数可)  
 ・登録メールアドレス(必須) ※登録用QRコード

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

会場	メッセージ	行事
8/30	牛田牧師	誕生者祝福式
9/6	久宝寺地区 久宝まぶねこども園	牛田牧師 教会を考える会
9/13	(新園舎・教会堂)	牛田牧師 聖書を読む会
9/20		水谷牧師